

## 平成30年度 財政健全化判断比率の審査意見

### 1 審査の実施日

令和元年8月19日

### 2 審査の概要

この財政健全化の審査は、町長から提出された健全化判断比率及びその基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているか、また、健全化判断比率算出過程に誤りはないかを主眼として実施した。

### 3 審査の結果

#### (1) 総合意見

審査に付された健全化判断比率については、算定基礎となる事項を記載した書類と決算審査等を照合した結果、計数は正確であると認められた。また、算出過程においても適切に処理されているものと認められる。

健全化判断比率	平成30年度	早期健全化基準	備考
①実質赤字比率	—	14.22%	
②連結実質赤字比率	—	19.22%	
③実質公債費比率	6.1%	25.0%	
④将来負担比率	11.9%	350.0%	

#### (2) 個別意見

##### ①実質赤字比率について

平成30年度の実質赤字比率は、一般会計等の実質収支額の計が黒字となっているため、算定されない。

##### ②連結実質赤字比率について

平成30年度の連結実質赤字比率は、一般会計等及び一般会計等以外の特別会計のうち公営企業に係る特別会計以外の会計の実質収支額、並びに公営企業会計の資金不足・剰余額の合計が黒字となっているため、算定されない。

##### ③実質公債費比率について

平成30年度の実質公債費比率は6.1%となっており、早期健全化基準の25.0%を下回っている。

④将来負担比率について

平成 30 年度の将来負担比率は 11.9%となっており、早期健全化基準の 350.0%を下回っている。

(3) 是正改善を要する事項

実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字であり、実質公債費比率及び将来負担比率も早期健全化基準を大きく下回っていることから、特に是正改善を要する指摘事項はない。